学校番号	T０１１０

平成31年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	３５清水　　３０８高等学校 新倫理 新訂版						
副教材等	なし						

担当者からのメッセージ

・先哲の思索をたどることが単なる知識の獲得にとどまらず、これとの対決を通して自身の生き方を確立していく姿勢が大切です。
・文章や話の内容を、意識して注意深く読み取る(聞き取る)ように努めましょう。
・自分の意見が論理的にわかりやすく伝わるよう、言葉を選び文章の構成を考えて、意見交換や発表に臨んでください。

学習の到達目標

・青年期の課題と、人間としての在り方生き方について、おもに古今東西の諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。
・主体としての自己の確立をめざして、とくに人間の尊厳についての倫理的な考え方を学びとり、人格形成に努める意欲をたかめる。
・現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断の能力を育てる。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。
評価方法	授業プリント レポート 態度観察	定期考査 レポート 論述	授業プリント レポート 論述	定期考査 レポート 論述

※上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。

学習の活動

学期	単元・学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	1編 1章 1節青年期の意義 2節青年期の課題	○	○	○	○	a：青年期の意義と課題に対する関心を高め、それを意欲的に探究し、他者と共に生きる自己の生き方について考えようとしている。 芸術家の人生と作品を手掛かりとして、青年期の意義と自己の在り方生き方について考えようとしている。 b：自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見いだし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究するとともに、他者と共に生きる自己の生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、課題を追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：自らの体験や悩みを踏まえて、青年期の意義と課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、豊かな自己形成に向けた学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d：青年期の不安や性格適性に関する悩みなどが、生きる主体としての自己確立の過程に共通する問題であり、人生観、世界観、価値観の形成が必要であることを理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	2章 1節ギリシア思想 2節キリスト教 3節イスラーム 4節仏教 5節中国思想	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	a：人生における哲学、宗教などのもつ意義に対する関心を高め、それらのもつ自己および人間の存在や価値にかかわる課題を意欲的に探究し、人間としての在り方生き方について考えようとしている。 b：人生における哲学、宗教などのもつ意義から、自己および人間の存在や価値にかかわる基本的な課題を見いだし、ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの考え方を手掛かりとして多面的・多角的に考察し探究するとともに、人間としての在り方生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、それらを考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などに関して、資料集などを手掛かりとするほか、図書館、美術館、博物館などで資料を探索し、人間の存在や価値にかかわる基本的課題を探求する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d：ギリシア思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国思想などの基本的な考え方に	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察

						ついて、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題であることに気付き、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	
後期	3章 1節古代日本人の思想 2節日本の仏教思想 3節近世日本の思想 4節西洋思想の受容と展開	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ 	a：日本の風土や伝統、外来思想の受容に対する関心を高め、日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について意欲的に探究し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について考えようとしている。 b：古典や生活慣習などをもとに、日本の風土や伝統について考察し、仏教や儒教、西洋思想などの外来思想の受容と吸収について学習しながら、日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について探究するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、それらを追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：日本の風土や伝統、外来思想の受容などに関して、資料集などを手掛かりとするほか、図書館、美術館、博物館などで資料を探索し、日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質についての理解を深め、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について探究する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d：日本の風土や伝統、仏教や儒教、西洋思想などの外来思想の受容と吸収に関して、日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質を、生きる主体としての自己確立の課題と結び付けて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	2編 1章 1節人間の尊厳 2節科学・技術と人間 3節民主社会と自由の実現 4節社会と個人 5節人間への新たな問い 6節社会参加と幸福	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：現代に生きる人間が直面する諸課題に対する関心を高め、倫理的視点から意欲的に追究し、他者と共に生きる自己の生き方について考えようとしている。 b：現代に生きる人間が直面する諸課題について、ルネサンス以後、現代に至る西洋思想の形成と展開を手掛かりとして多面的・多角的に考察し、倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共に生きる自己の生き方にどうかかわるかを広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、それらを追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：ルネサンス以後、現代に至る西洋思想の形成と展開に関して、資料集などを手掛かりとするほか、図書館、美術館、博物館などで資料を探索し、先哲などの考え方や生き方を自らの思索を深めるために活用している。 d：ルネサンス以後、現代に至る西洋思想の形成と展開について、合理的精神、民主社会の倫理、科学技術文明の在り方、人間の尊厳の自覚などについて、自己の生き方とつなげて理解し、社会参加や自己実現ともかかわりながら、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	2章 1節生命の倫理 2節環境の倫理 3節家族の課題 4節地域社会の課題 5節高度情報化社会の課題 6節文化と宗教の課題 7節国際平和と人類の福祉の課題	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ 	a：現代の諸事象における倫理的課題から、関心のある問題を積極的に選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。現代に生きる人間としての在り方生き方について考え、倫理的諸課題に進んで取り組もうとしている。 b：自然と人間とのかかわり（生命倫理、環境倫理）、社会生活と自己とのかかわり（家族・社会、情報化）、国際社会と自己とのかかわり（異文化理解、国際平和）などの視点から、現代の倫理的諸課題を、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、課題を追究し考察した過程や結果を、レポートにまとめ、発表や討論などを通して適切に表現している。 c：現代の倫理的諸課題に関する諸資料をインターネットなどの様々なメディアを通して収集し、自己の課題とつなげて追究する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d：今日の生命倫理または環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方または情報社会の在り方について、異文化の尊重または国際平和について、それぞれ現代に生きる人間としての在り方生き方にかかわる諸課題を、自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現　c：資料活用の技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。